

主要施策の成果説明書

特別会計

款	地域支援事業費	項	介護予防事業費			
事業名	シルバー健康づくり事業					
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり					
決算額	126千円	財源内訳	国県支出金等	83千円	一般財源	43千円

【施策の概要】

体力維持の運動方法やまち歩きをしながら土浦の歴史や文化を知る機会を作り、高齢者が楽しみながら運動・認知機能の向上及び介護予防への動機付けができる5日間コースの講座を開催しました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
シルバー健康づくり事業	126	報償費 消耗品費 委託料(体力測定、個別結果票作成、体操実技指導等)
合 計	126	

<講座の内容>

○5日間の講座を年2回開催。

対象者：65歳以上の市民

- ・1日目…体力測定、認知症サポーター養成講座
- ・2日目…運動講話「運動の体と心への効果」
運動実技「筋力運動とリラクゼーション」
- ・3日目…口腔講話・実技「きれいなお口で素敵な笑顔」
栄養講話「マイナス5歳の体を作る秘訣、
教えます」
- ・4日目…健康遊具体験
ウォーキング（ノルディックウォーキング）
- ・5日目…土浦市内まち歩き
（土浦市観光ボランティアの案内による）



<講師>

- ・アップテン代表 藪下典子氏
- ・在宅歯科衛生士 飯田洋子氏
- ・管理栄養士 石沢真奈氏
- ・ウォーキング協会 丸島秀明氏
- ・土浦観光ボランティア 3人



<開催結果>

○第1回目…7/6, 7/13, 7/20, 7/24, 7/30

会場…新治総合福祉センター

参加人数 29人

○第2回目…11/2, 11/9, 11/16, 11/30, 12/7

会場…ふれあいセンターながみね

参加人数 11人



【施策の成果】

体力測定により、参加者が自らの体力を確認した上で、運動、栄養、口腔等の講座を受講することで、心身の変化を自覚する動機付けができました。また、観光ボランティアの案内による市内の街歩きでは、ウォーキングを行いながら、土浦の歴史や文化を再発見することができました。

この事業を開催したことで、1日限りの介護予防教室では得られない仲間との交流や幅広い体験を通して、楽しみながら介護予防に取り組む意識を高めることができました。

款	地域支援事業費	項	包括的支援事業・任意事業費			
事業名	高齢者見守りネットワーク事業					
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり					
決算額	1,314千円	財源内訳	国県支出金等	1,279千円	一般財源	35千円

【施策の概要】

高齢者が外出先で突然倒れたり、認知症により徘徊した場合など身元が分からない状態となった時に、関係機関に対して迅速に情報提供が行うことができるように、ひとり暮らし等の高齢者と認知症の方を対象に、氏名、住所、緊急連絡先等の情報を登録して、登録番号を付したキーホルダーを配布しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
高齢者見守りネットワーク事業	1,314	報償費 消耗品費 (キーホルダー 1,300個) 通信運搬費 (携帯電話通話料) 備品購入費 (システム代, スマートフォン代等)
合計	1,314	

1 見守りキーホルダー登録システム

キーホルダーに付した登録番号をもとに、インターネット回線を使用した登録情報確認システムを使用することで、夜間、休日でも職員がスマートフォンから登録情報の確認をすることが可能になりました。

【キーホルダー配布状況】 (単位：人)

区分	配布数
ひとり暮らし等	473
認知症	32
合計	505



2 地域づくりセミナーの開催

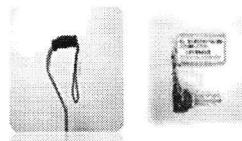
見守り合う地域づくりを進めるために、弁護士、警察、医療、福祉、消費生活センター等の専門家を招いたセミナーを開催しました。

キーホルダーの活用例

- ① 出先でけがや急病により倒れたり、道に迷い自宅が分からない等で保護。
- ② 発見者から土浦市高齢福祉課に連絡 (24時間365日対応)。



- ③ キーホルダーの番号をもとに、登録情報を確認。
- ④ 土浦市高齢福祉課が警察に通報。または、消防署に救急車要請。
- ⑤ 警察、消防署に緊急連絡先等の情報提供。



- ⑥ 病院搬送・自宅に帰宅



高齢者クラブを対象に、土浦警察署員を講師に招き、詐欺被害の研修を開催

【施策の成果】

ひとり暮らし、認知症等の高齢者が増えている中で、登録番号を付けたキーホルダーを配布し、登録番号により必要な情報をあらかじめ登録したことにより、緊急時の対応に備えることが可能になりました。また、高齢者や家族等に緊急時の対応について、考える機会を与えることにもつながりました。

地域づくりセミナーの開催により、詐欺被害等に遭わないための周知や高齢者同士が声を掛け合う意識付けができました。

款	下水道費	項	下水道維持費				
事業名	内水ハザードマップ作成事業						
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり						
決算額	15,502千円	財源内訳	国県支出金等	6,825千円	一般財源	8,677千円	

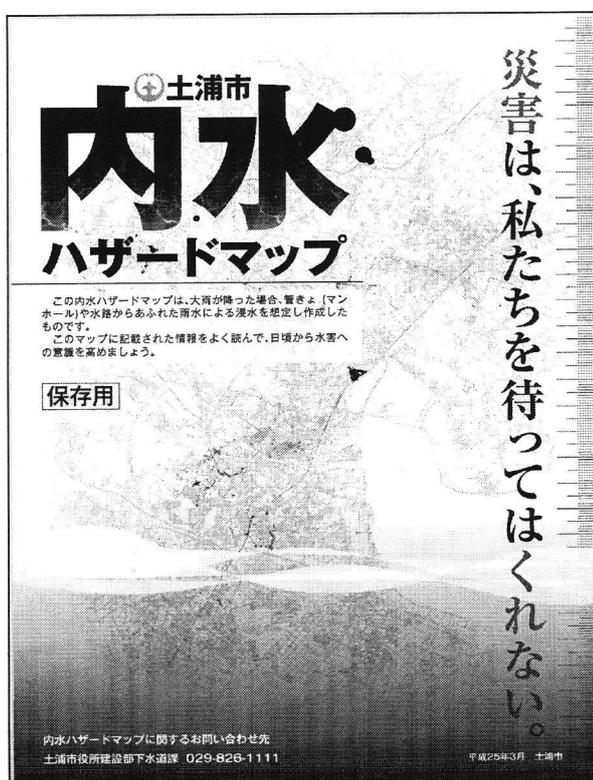
【施策の概要】

近年、ゲリラ豪雨の多発や都市化の進展に伴い、短時間に計画排水量を超える大量の雨水が流出し、内水氾濫の被害リスクが増大しています。
 今後、気候変動によるゲリラ豪雨の増加、台風の激化の懸念が指摘されるため、市内全域を対象とした内水ハザードマップの作成及び公表を行い、内水による浸水被害の最小化を図ります。

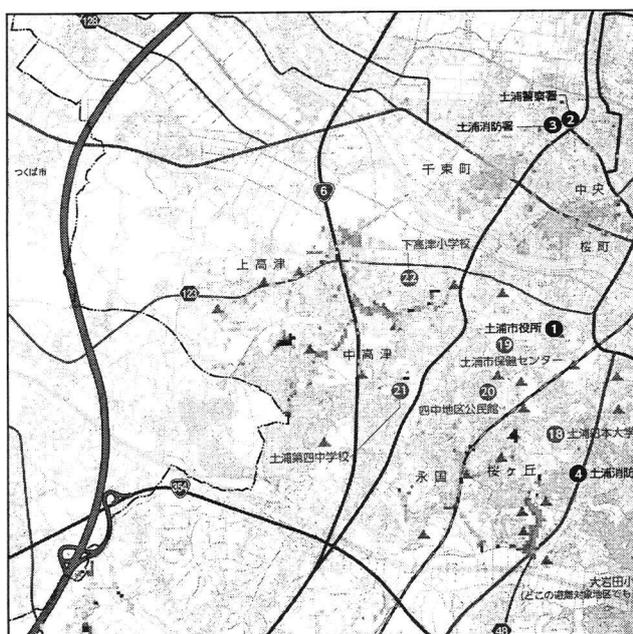
[平成24年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
内水ハザードマップ作成業務	15,502	内水ハザードマップの作成及び印刷
合計	15,502	



内水ハザードマップ



大雨時の浸水危険箇所

【施策の成果】

ゲリラ豪雨等の浸水被害の危険な箇所を示した内水ハザードマップを市内全世帯に配布しました。これにより、被害の最小限化、さらには、自助意識・防災意識の向上を図りました。

款	下水道費	項	下水道建設費			
事業名	公共下水道（雨水）排水路整備事業					
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
決算額	211,880千円	財源内訳	国県支出金等	211,844千円	一般財源	36千円

【施策の概要】

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（雨水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～平成28年度

全体計画面積 5,587.6ha 認可区域面積 2,298.7ha

[平成24年度分]

(単位：千円)

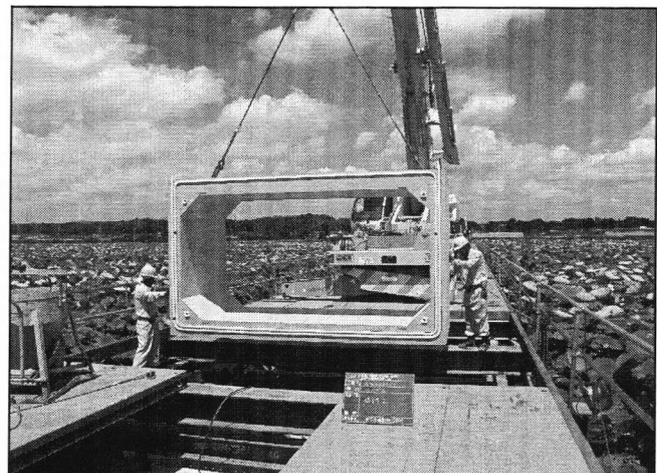
区分	事業費	概要
整備費	211,880	3件 延長 357m
合計	211,880	

[平成25年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	82,005	2件
合計	82,005	

[整備状況]



木田余第一排水区公共下水道（雨水）工事

【施策の成果】

豪雨による家屋の浸水被害や道路冠水を解消させるため、木田余第一排水区において整備工事を行い、生活環境の向上を図りました。

款	下水道費	項	下水道建設費
事業名	公共下水道（污水）整備事業		
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	541,595千円	財源内訳	国県支出金等 541,491千円 一般財源 104千円

【施策の概要】

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（污水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～平成28年度

全体計画面積 5,587.6ha 認可区域面積 4,490.7ha

[平成24年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	541,595	30件 Φ200外 延長2,981m

[平成25年度への繰越分]

(単位：千円)

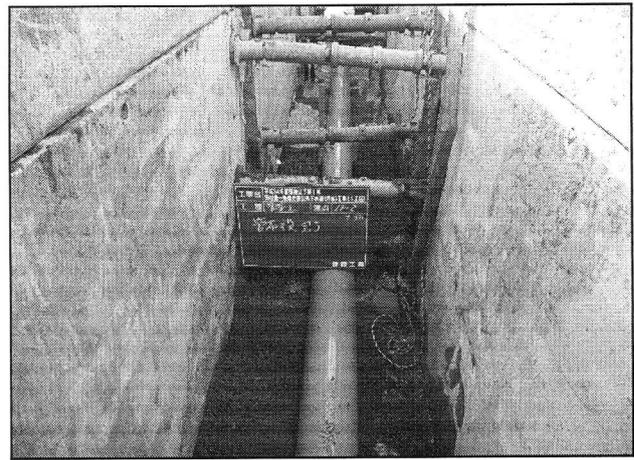
区分	事業費	概要
整備費	217,328	10件

[過去3年間の公共下水道整備状況]

(単位：ha)

年度	認可面積	整備面積	整備率
22	4,006.60	3,200.50	79.9%
23	4,062.70	3,223.08	79.3%
24	4,062.70	3,264.30	80.3%

[整備状況]



田村第一処理分区公共下水道（污水）工事

【施策の成果】

神立，田村第一・第二，沖宿，若松，並木第一，木田余第五，亀城，高津，永国，中村第二，荒川沖第二・第三及び新治の各処理分区内において整備工事を行い，生活環境の向上を図りました。

款	下水道費	項	下水道建設費				
事業名	特定環境保全公共下水道整備事業						
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり						
決算額	17,311千円	財源内訳	国県支出金等	9,700千円	一般財源	7,611千円	

【施策の概要】

◎新川・備前川等の水質汚濁防止のための下水道（污水）整備事業
事業期間：平成5年度～平成28年度（単位：ha）

整備対象地区	計画面積	整備済面積
虫掛地区	49.0	48.6
常名・殿里・並木地区	116.0	63.0
大岩田地区	73.0	39.0
新治地区	190.0	162.6
計	428.0	313.2

[平成24年度分]

(単位：千円)

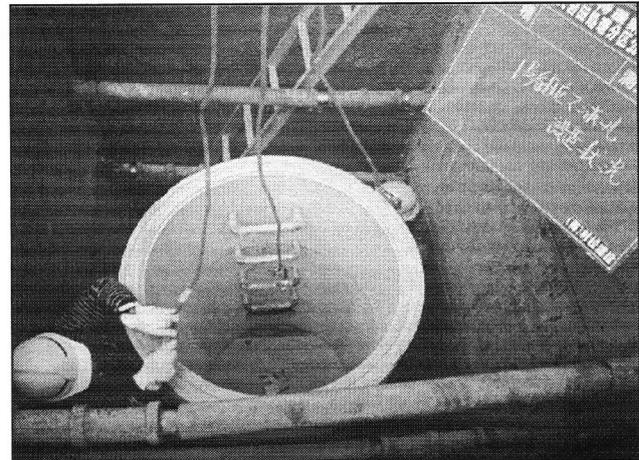
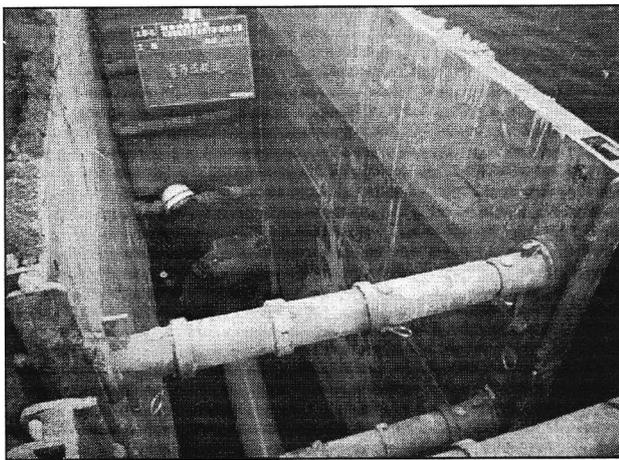
区分	事業費	概要		
整備費	17,311	4件	Φ200	延長131m

[過去3年間の特定環境保全公共下水道整備状況]

(単位：ha)

年度	認可面積	整備面積	整備率
平成22年度	428.0	305.2	71.3%
平成23年度	428.0	309.4	72.3%
平成24年度	428.0	313.2	73.2%

[整備状況]



大岩田処理分区公共下水道（污水）工事

【施策の成果】

虫掛地区（亀城処理分区）及び大岩田地区（大岩田処理分区）において整備工事を行い、生活環境の向上を図りました。

款	卸売市場費	項	卸売市場管理運営事業
事業名	公設卸売市場施設整備事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	115,689千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 115,689千円

【施策の概要】

平成22年10月に指定管理者制度を導入し、今後の民営化に向けた市場運営強化のため、老朽化した施設の大規模改修を行いました。

[平成24年度改修事業等]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	33,411	青果せり場屋根防熱化塗装工事
工事請負費	17,052	水産せり場屋根防熱化塗装工事
工事請負費	18,375	市場受変電設備改修工事
工事請負費	44,709	中央棟外壁塗装工事
備品購入費	1,017	水産・青果冷蔵庫用外気遮断エアカーテン購入
備品購入費	1,125	消火栓購入
計	115,689	

[施設整備状況]

(単位：千円)

年度	事業費	概要
平成22年度	146,556	駐車場舗装打替工事ほか10件
平成23年度	97,403	空調設備改修工事ほか4件
平成24年度	115,689	青果せり場屋根防熱化塗装工事ほか5件
計	359,648	



現在の公設卸売市場の外観

【施策の成果】

せり場屋根防熱化塗装工事を実施したことにより、せり場内の温度が下がるため、暑い日でも、せり場内の商品が劣化するのを防ぐことができるようになりました。また、市場受変電設備改修工事においては、変圧器を増設し、電動フォークリフト用の充電施設を増強しました。さらに、中央棟外壁塗装工事においては、クラックなどで劣化した壁面を補修し、塗装し直すことで、雨漏りの対策と汚れた外壁の景観向上を図りました。

今後も、老朽化した市場施設の計画的な更新を行い、市場機能の回復を図ります。

